
四季 ~ shiki ~

桜木 桜花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

四季 し　　h　　i　　k　　i　　し

【Nコード】

N 1 4 2 7 P

【作者名】

桜木 桜花

【あらすじ】

初めて書く詩です。感想など、いろいろな意見をおよせください。

「春」

「かぜさん、かぜさん、どこへいくの？」

小さな 男の子が 言いました。

「みんなに 花の匂いを 届けに 行くんだよ。」

風は そう言つと、男の子の鼻を くすぐつて、
ピューンと 飛んで 行きました。

「さくらさん、さくらさん、なにをしているの？」

小さな 女の子が 言いました。

「桃色の キレイな カーペットを 作っているのよ。」

桜は そう言つと、女の子の足元に、
きれいな カーペットを 作りました。

「はるさん、はるさん、聞こえてる？」

ちいさくて きれいな はるのおと。」

小さな 子供たちが 言いました。

「聞こえているよ。僕が 鳴らしているんだもの。」

春は そう言つと、みんなの肌に、
あたたかい 毛布を かけました。

「夏」

太陽が ギラギラと 輝いて、

海に キレイな宝石を ちりばめている。

風が 穏やかに ふいて、
海を ゆっくり ゆらしている。

田舎にある 大きな 大きな 木陰で
私は 海が 鳴らしている 音色を
BGMにして
本を 夢中になって 読む

潮の 匂いの 香水が
私の周りを 取り巻いて

暖かい 夏の風が
私や 他のものを 包んで

今年も 夏が来た。

「秋」

秋になると

山は

きれいな 着物を 着る。

金色 黄色 オレンジ色 赤色
明るい 鮮やかな 着物

虫は

『リンリンリン』
と静かな音楽を演奏する。

「冬」

雪の粘土で 雪だるまを つくる
やっぱり 冷たい

雪のベッドに 寝転がって 天使を つくる
やっぱり 寒い

空から降ってくる冷たい雪
毎年見るたびに
心が暖かくなるのは
なぜだろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1427p/>

四季 ~ shiki ~

2010年12月19日01時21分発行